

『東日本大震災 100 の教訓 復興検証編』 出版記念研究交流集会 検証なき復興フェードアウトに抗して

復興は終わりではない。改めて問う：「高台移転」「職住分離」の帰結——
まさに生命の輝き、暮らしの息吹は甦ったのか。復興から取り残され苦
しみの絶えぬ被災者のために私たちは何ができるのか。

■ 研究交流集会

第1日 2024年2月11日(日・祝日) 13時～17時

第2日 2024年2月12日(月・振替休日) 10時～17時

会場：東北大学片平キャンパス・エクステンション教育研
究棟 6階 講義室A(地域イノベーション研究セン
ター・会計大学院)

——オンライン併用によるハイブリッド開催——

入場無料(どなたでもご参加いただけます。)

オンライン参加の方は、以下のサイトの請求フォームにより、ミーティング
IDとパスコードを取得してください。

https://miyagishinsailabo.com/reconst_verific_seminor202402/

■ 出版記念レセプション

2024年2月11日(日・祝日) 17時30分～19時

レストラン萩 会費：4,000円



記念講演

「2011年3月11日金曜日 14時46分
東日本大震災～東日本大震災 現場か
らの証言 復興に向けた提言と課題～」

深松 努さん

株式会社深松組 代表取締役社長
地元建設業として大震災復興の最前
線で復旧・復興を牽引
著書に『地域再生と社会創造』(幻冬
舎, 2023年9月)

基調講演

①「検証なしに復興をフェードアウトさ
せてはならない」

長谷川公一さん

尚絅学院大学教授/みやぎ震災復興研究セ
ンター副代表

②「福島第1原発災害13年を経て —
被災者・県民が復興の主体者となる
ために—」

鈴木 浩さん

福島大学名誉教授/福島県復興計画検討委
員会会長(当時)

共同開催 みやぎ震災復興研究センター／東北大学大学院経 済学研究科・震災復興研究センター

みやぎ震災復興研究センターは2023年12月『東日本大震災100の教訓 復興検証編』(クリエイツかもがわ)
を出版しました。東北大学大学院経済学研究科・震災復興研究センターは2024年1月『東日本大震災と原発事
故は何を残したか：大震災・原発事故からの復興・復旧の先にある持続的発展のロードマップ』を出版し、同書
の出版を記念する研究会を計画しています。両団体はそれぞれの企画を出版記念事業の一環として相互支援を
行います。

問い合わせ先：みやぎ震災復興研究センター E-mail: miyagishinsailabo@gmail.com
(裏面に開催プログラム)

東日本大震災 100 の教訓 復興検証編』出版記念研究交流集会 開催プログラム

第一日 2024年2月11日 (日・祝日) タイムテーブル

【全体会】

- 13:00～13:20 開会挨拶 『東日本大震災 100 の教訓 復興検証編』の出版を記念して」(20分)
千葉昭彦 (みやぎ震災復興県センター代表・東北学院大学経済学部教授)
- 13:20～14:35 記念講演 「2011年3月11日金曜日14時46分 東日本大震災～東日本大震災 現場からの証言 復興に向けた提言と課題～」(60分) 深松 努 (株式会社 深松組 代表取締役社長)

【主題解説・基調講演】

- 14:40～17:00 主題解説 「研究交流集会のねらいと課題」(20分)
増田 聡 (研究交流集会実行委員長・東北大学大学院経済学研究科教授/震災復興研究センター長)
- 基調講演①「検証なしに復興をフェードアウトさせてはならない」(40分)
長谷川公一 (みやぎ震災復興研究センター副代表・尚絅学院大学教授)
- 基調講演②「福島第1原発災害 13年を経て 一被災者・県民が復興の主体者となるために」(40分)
鈴木 浩 (福島大学名誉教授・福島県復興計画検討委員会会長 (当時))
- 総括ノート「第一日を振り返って」(10分)
増田 聡 (研究交流集会実行委員長)

※ 出版記念レセプション レストラン萩 17:30～19:00 会費 4,000円

第二日 2024年2月12日 (月・振替休日) タイムテーブル

【第1セッション】パネルディスカッション「取り残される被災者にどう向き合うのか」

- 10:00～12:10 年初に発生した能登半島地震。厳寒期の避難所環境は良好とは言えず、多数の在宅避難者が存在し、今なお命の危険にさらされている。住家被害調査に大量の人的リソース投入される一方で、最優先すべき被災者救済が手薄なのは否めない。なぜこんなことになるのか。どのような構想がこの現状を変えるのか。東日本大震災以降各地で取り込まれるようになった、一人ひとりに寄り添った被災者生活再建支援の手法である「災害ケースマネジメント」を主軸として議論したい。
- コーディネータ 菅野 拓 (大阪公立大学大学院文学研究科准教授)
 - 問題提起 (五十音順) 伊藤健哉 (一般社団法人チーム王冠), 津久井 進 (弁護士・兵庫弁護士会), 中関武志 (NHK エンタープライズ東北支社)
 - 討論者 須沢 栞 (東海大学建築都市学部講師)

【ランチミーティング】研究者・実践者交流会

- 12:30～14:20 ご自身が取り組んでいる研究や支援活動、問題意識を出し合い交流しましょう。新たな出会いと刺激的な発見があるといいですね。ランチ持参でお集まりください。
- ファシリテータ (五十音順)：窪田亜矢 (東北大学大学院教授), 嶋原敦子 (同特別研究員)

【第2セッション】パネルディスカッション「復興まちづくり再考 『職住分離』『高台移転』がもたらした復興の姿」

- 14:30～16:40 人の住まない荒地を守る防潮堤、広大な非可住地、追い立てられた被災者、巨費を投じて造成された限界集落など、復興まちづくりを経た被災地の実態を、客観的データで具体的に示すとともに、復旧復興事業制度の瑕疵とその運用にのめり込む官僚主義を検証し、また、住民自治の可能性を示した数少ない事例も踏まえて、被災者が復興の主体となり得るには何が必要か、議論したい。
- コーディネータ 田中正人 (追手門学院大学地域創造学部教授)
 - 問題提起 (五十音順) 阿部重憲 (新建築家技術者集団宮城支部), 小川静治 (東日本大震災復旧復興支援みやぎ県民センター), 遠州尋美 (みやぎ震災復興研究センター)
 - 討論者 田中重好 (尚絅学院大学教授)

【閉会挨拶】

- 16:40～17:00 開会挨拶 「復興<災害>を許さず、新たなステージへ」(20分)
塩崎賢明 (みやぎ震災復興県センター顧問・神戸大学名誉教授/兵庫県震災復興研究センター代表理事)